

【 日本医師会生涯教育講座申請の注意事項について 】

本内容は、熊本市医師会への申請時における注意事項です。
各医師会によって申請方法等が異なりますので、ご注意ください。

申請の手順について

本会理事会において協議に諮るため、開催2ヶ月前までに申請をお願いいたします。
所定の申請書にご案内状を添え、熊本市医師会事務局へご提出ください。

申請内容の詳細について (見本あり)

※添付するご案内状の注意事項

1. 単位数及びカリキュラムコードを必ず明記してください。
(別添のカリキュラムコード表を参照してください)
2. 製品の説明を記載する場合は「情報提供」や「話題提供」と標記し、薬品等については、商品名ではなく一般名称を記してください。また、説明者の企業名は標記しないこと。
3. 本会理事会での承認前のため、添付のご案内状には「(案)」の記入をお願いいたします。

参加の証明について

本会で承認された講座については、参加者(医師会員のみ)を熊本県医師会へ報告するため、講演会終了後速やかに、参加者名簿の提出をお願いします。

また、名簿(芳名録)提出の際は、出席者数を医師・その他職種に区別して記載の上ご報告をお願い致します。

その他注意事項

1. 以下の企画は認められておりませんので、ご了承ください。
 - ① 特定の医療機関の囲い込みとなるような企画
 - ② 企業の宣伝・営利目的が強い講演会もしくは企業単独での企画
2. 講演会等の開催はホテル等、会員が参加し易い公共の施設が望ましい。
3. 研修会や講演会主催者の学術性を尊重するため、会則や規則などは、主催者の立場と連絡先を明記し、本会との連携を密にすること。
4. 申請は、当会理事会で協議の結果、承認の可否が決定致します。
必ず承認されるものではございませんので、予めご了承ください。

カリキュラムコード

(略称：CC)

1	医師のプロフェッショナリズム	28	発熱	57	外傷
2	医療倫理：臨床倫理	29	認知能の障害	58	褥瘡
3	医療倫理： 研究倫理と生命倫理	30	頭痛	59	背部痛
4	医師－患者関係と コミュニケーション	31	めまい	60	腰痛
5	心理社会的アプローチ	32	意識障害	61	関節痛
6	医療制度と法律	33	失神	62	歩行障害
7	医療の質と安全	34	言語障害	63	四肢のしびれ
8	感染対策	35	けいれん発作	64	血尿（肉眼的、顕微鏡的）
9	医療情報	36	視力障害、視野狭窄	65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
10	チーム医療	37	目の充血	66	乏尿・尿閉
11	予防と保健	38	聴覚障害	67	多尿
12	地域医療	39	鼻漏・鼻閉	68	精神科領域の救急
13	医療と介護および福祉の連携	40	鼻出血	69	不安
14	災害医療	41	嘔声	70	気分の障害（うつ）
15	臨床問題解決のプロセス	42	胸痛	71	流・早産および満期産
16	ショック	43	動悸	72	成長・発達の障害
17	急性中毒	44	心肺停止	73	慢性疾患・複合疾患の管理
18	全身倦怠感	45	呼吸困難	74	高血圧症
19	身体機能の低下	46	咳・痰	75	脂質異常症
20	不眠（睡眠障害）	47	誤嚥	76	糖尿病
21	食欲不振	48	誤飲	77	骨粗鬆症
22	体重減少・るい瘦	49	嚥下困難	78	脳血管障害後遺症
23	体重増加・肥満	50	吐血・下血	79	気管支喘息・COPD
24	浮腫	51	嘔気・嘔吐	80	在宅医療
25	リンパ節腫脹	52	胸やけ	81	終末期のケア
26	発疹	53	腹痛	82	生活習慣
27	黄疸	54	便通異常（下痢、便秘）	83	相補・代替医療 （漢方医療を含む）
		55	肛門・会陰部痛	0	最新のトピックス・その他
		56	熱傷		

研修管理システム*を利用している講習会等で取得した単位・CC は、日本医師会で既に管理しておりますので、申告の必要はありません。日医生涯教育制度の概要は、日本医師会生涯教育 on-line をご覧下さい。

生涯教育ポータルサイト
日本医師会生涯教育 on-line

<https://www.med.or.jp/cme/about/index.html>

*全国医師会研修管理システム：都道府県医師会または郡市区医師会等が講習会等の情報および出欠管理を行うオンラインシステム